

第71回「ハートミーティング」意見交換の内容について

市民応対向上を目指す以下の職員グループのメンバー

北区役所改革実践チーム・中京区役所なかなかプロジェクト若手職員チーム・西京区役所活性化グループ

★市長からのコメント

- 北区役所の「花壇の活性化」の取組は、区役所を明るくするだけでなく、防犯対策に効果があるとも聞いており、効果に期待したい。「send a smile プロジェクト」では、子育ての楽しみや感動を伝える取組として是非頑張ってもらいたい。
- 中京区役所では、地域の方と協力し、屋上を緑豊かに変えてくれた。その屋上で開催した「お月見の会」は、多くの来場があり、職員が朗読した「竹取物語」も大変好評だった。若い皆さんが主体的に、創造的な発想で区役所の改革を実践しており嬉しく思う。
- 西京区役所では、「西京区役所40周年」を契機に、魅力向上のために様々なことに挑戦しており、皆さんの頑張りがしっかり伝わった。ハード面の整備は簡単ではないが、短期・長期的な視野を持ち取組を検討してほしい。
- 若い職員が慣例にとらわれず、感性を生かし経験豊かな先輩職員と力を合わせ、「チーム区役所」が一体となり、改革に取り組んでくれている。区役所の第一線の現場が大きく変わってきたと感じ、頼もしく感じた。
- 京都の素晴らしい市民力を発揮できるよう、職員一人ひとりが区役所をより良くするという気概を持ち、市民の皆様と連携し「みんなごと」のまちづくりを推進してほしい。

★参加メンバーからの主な声

- 各区によって、やりたいことやできることは異なりますが、いずれも区役所をより良くするという共通の目標を持った魅力的な内容であったため、今後の取組の参考になりました。
- 1年間取り組んできた活動内容を、市長に直接伝えることで、これまでの振り返りができ、また、若手だからこそ京都市のためにできることがあったと改めて実感することができました。
- 気付かないうちに、職場での「当たり前」が自分にとっての「当たり前」になってしまっているのではないかと感じました。市長のお話を聞き、もう一度、業務を振り返って、市民目線でのサービスについて考え、サービス向上に努めたいと強く思いました。
- 市長のお話に、内外に開かれた市政・区政というものがありましたが、区の内部でも各部署が行っている業務について理解し、しっかりと連携をとることで、より良い市民サービスに繋がると感じました。
- 区役所は市民の方々との最前線の職場であり、この職場で感じる市民の方々へ「何かしたい」「役所を身近に感じてほしい」「笑顔で退庁してほしい」という気持ちこそ、忘れてはいけない市民感覚であるのではないかと思います。